

日本宝くじ協会の助成を受け作成した、平成30年度「宝くじドリームジャンボ絵本」は、8月1日以降、全国1,400ヵ所の保育所及び認定こども園に贈呈され、各施設で活用されています。

子どもたちの喜ぶ笑顔が目に見えそうな報告を、各施設からいただいておりますので、平成29年度作品の報告とあわせてご紹介いたします。



### ● 平成30年度「みんなをのせてバスブザー」

☆大型絵本をCDに合わせてみたのは初めてだったので、子どもたちがとても興味を持って見ていました。同じ曲の繰り返しで、子どもたちもリズムを覚え、手を動かしたり、体を揺らしたりと、絵本の中に入り込んでいるような気持ちで見ているのかなと感じました。絵も可愛く、皆をのせて走るバス、幸せな気分になりました。

☆楽しいお話で絵も可愛らしく、子どもと一緒に楽しく観させていただきました。日常の保育の他、誕生会や月に1度訪問しているデイサービスセンターでも活用し、園児と施設のご老人の方々と一緒に楽しませていただいております。

☆CDを使用したことで、子どもたちも新鮮に感じ、絵本の読み聞かせを楽しむことができました。また、内容も登場する動物のやりとりを通して、やさしさと趣旨が分かりやすく描かれ、園児たちにもやさしさの意味が伝わったのではないかと思います。



### ● 平成29年度「ぼんぼこ村のお月さま」

☆ここまで大きな絵本を読む機会はなかなかないので、子どもたちも興味津々でした。色彩豊かで可愛い絵と、臨場感あふれる音楽や心温まるストーリーで、子どもも大人も楽しめました。

☆誕生会で使用させていただきました。園児が96名いたのですが、絵本が大きいので、うしろの方にいる子どもも、ちゃんと見えていました。また、CD付きで音楽も入っていたので、演じる保育士もゆったりと絵本を見ながらできたので良かったです。

☆子どもたちは、物語の内容や絵を見て楽しむだけでなく、音楽に合わせて手をたたいたり体を揺らしたりと、最後まで夢中になっていました。

☆とても優しい、心温まるお話で、子どもたちにも大人気でした。園の発表会で、年中児が音楽劇として取り入れ発表し、保護者にも大好評でした。

☆普段は座ってられない子も集中してよく見ていました。障害のある子もない子も楽しめる絵本でした。

☆秋ならではのお話だったので、敬老の日の集いでおじいちゃん、おばあちゃんたちと一緒に見るのができて良かったです。

